

saveMLAK ニュースレター

第14号

吹田市立図書館でムラックくん ポスター巡回展開催（大阪府）

1月20日から始まった巡回展は、3月22日まで吹田市立千里山・佐井寺図書館で開催中です。このムラックくんは、渡辺ゆきのさんがデザインしました。

これまで2年近くsaveMLAKが行ってきた活動をまとめたポスターやニュースレター、災害の写真などを吹田市立図書館で巡回展示してもらい、saveMLAKの活動と現地の復興の様子を吹田市民のみなさまに知っていただくのがこの企画のねらいです。今回の取材では、企画展の担当者である渡辺真由美さんにご案内いただきました。



上の写真のように、広々とした場所に美しく展示していただいています。ここは同館2階にある「復元教室2」です。千里山・佐井寺図書館は吹田市立千里第二小学校の跡地に建てられた新しい図書館であり、古い校舎の風情を復元した教室が館内に設置され、閲覧室などに使用されています。小学生用の小さな机と椅子が写真に写っているのがおわかりですね。昭和の小学校を思い出して懐かしかったです。



展示ケースの中には、震災で被害を受けた図書館や博物館などの写真が展示されています。ムラックくん人形もケースの中で可愛らしく鎮座していました。



saveMLAKのニュースレターやステッカーも配布していただいています。

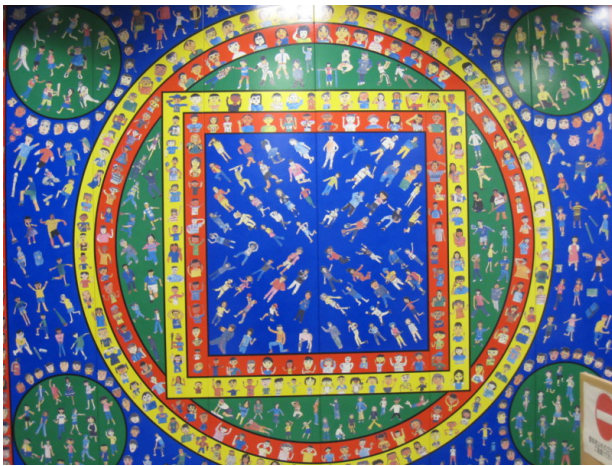
続きは
次のページで！



saveMLAKニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複写・配布等、自由にしていただいて構いません。

吹田市は図書館活動が盛んに行われているところであり、この「ちさと」でもさまざまな行事が取りまわっています。障がい者サービスの拠点施設であり、たくさんのボランティアの方が活動されているとのこと。ここは小学校の校舎を復元した建物なので、懐かしさと親しみやすさを感じさせてくれます。落ち着いたたたずまいの図書館であり、二階の参考図書・情報コーナーにはあらゆる分野の高度な参考図書がズラリと並び、大人がゆっくりじっくり研究に取り組める環境が整っています。

1階エントランス近くには千里第二小学校2003年度在校生の作品が展示されていました。床から天井まで届く大きなモザイク画は曼荼羅をイメージされているようです。



3月22日の展示が終われば、次は順次、ムラックくんが市内の図書館を回るとのことです。「ちさと」の渡辺さん、みなさん、ありがとうございます！

【谷合 佳代子 (写真含む)】

この内容は、「エル・ライブラリー 大阪産業労働資料館」の公式ブログにも掲載されています。あわせてご覧下さい。

2013-02-20 (吹田市立図書館展示)

<http://d.hatena.ne.jp/l-library/20130220>

2012-12-28 (ポスターを巡回展示しませんか?)

<http://d.hatena.ne.jp/l-library/20121228>

2012-12-01 (ポスター展示のお知らせ)

<http://d.hatena.ne.jp/l-library/20121201>

ムラックくんポスター @大阪 エル・ライブラリー



2月のsaveMLAKウィキ!

◆2月の編集者の方々 (期間: 2013/02/01 (Fri) - 2013/02/28 (Thu))
(順不同、IP アドレス・bot・SPAM による編集除く)

総編集回数: 163回

- 1回 Itono, Kosuke Tanabe
- 2回 Arg, Artemismarch, OpenIDユーザ3, Ta niyan, Wall8887
- 3回 T.kawakami, かみよ
- 4回 Snagai, 直人 富岡
- 6回 Soda235
- 8回 Kudose, Library
- 11回 Yesuga
- 27回 Masao
- 31回 Watarperiod
- 46回 Minoritomizawa

【川上 努】



saveMLAKニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複写・配布等、自由にしていただいて構いません。

saveMLAK統計 2013年2月現在

MLアカウント数	298 (-1)
総ユニーク Wiki 編集者	
アカウント数	351 (±0)
Wiki 編集回数の総計	138,385 (+804)
総 Wiki ページ数	28,942 (+67)
総 Wiki 施設ページ数	25,480 (+42)

2月の出来事と今後の予定

2013年2月3日

「文化教育施設の被災・救援・関連情報まとめ
サイト:saveMLAK ウィキへの引き込み大作戦〜3
つの恐怖症と対策〜」と題して講演 (江草)

外部イベント

Wikipedia Conference Japan 2013

(於：東京大学本郷キャンパス)

2013年2月12日

「About 2 years of saveMLAK project」と題し
てライトニング発表登壇 (高久)

外部イベント

Code4Lib Conference 2013

(於：米国イリノイ州シカゴ)

2013年2月26日

第24回saveMLAK MeetUp開催

2013年3月8日

「被災地の社会教育復興〜saveMLAKを中心
に〜」と題して発表予定 (神代)

外部イベント

東日本大震災復興支援活動 第2回報告会

〜ランチミーティング@KK2 番外編〜

(於：東京霞が関ナレッジスクエア)

2013年3月11日

「社会教育・文化施設の被災情報集約から復興
支援へ」と題して発表登壇予定 (阿児)

外部イベント

第1回文化財保護活動支援チャリティ講演会

&交流の夕べ

(於：札幌市サッポロビール博物館)

saveMLAK会計 2013年2月期収支

2月末現在

<収入>

受取寄付金	34,200	図書館総合展他 (熊本)
受取利息	46	預金決算利息
計	34,246	

<支出>

グッズ仕入れ	15,000	缶バッジ製作費
預かり金	3,111	源泉徴収税
支払手数料	80	振込手数料
計	18,191	

2月末現在 残高

1.586,408円 (前月比+16,055円)

【ファンド係：赤塚 昌俊】

編集後記

3月に入り、東日本大震災に関する特集を新聞
やテレビで取り上げる機会が多くなりました。先
日、NHKスペシャルの「震災ビッグデータ」に関
する番組を視聴しました。携帯電話やカーナビ、
津波のシミュレーションデータや地形などを元に
様々な分析を行うという内容です。saveMLAKの
各施設ページも3.11前後の施設情報を提供、保存
する意味では施設ビッグデータにあてはまると思
います。それをどう今後に生かすのか、今回行っ
た支援や活動を通じてどう将来の震災対策に生か
すのか、こういった活動も今後、必要視すること
も大切な活動だと思います。

3.11からちょうど2年。皆様にとって2年という
年月は早く感じられますか、それとも遅く感じら
れますか？

【今号編集担当：富澤 美典】



編集発行: saveMLAK プロジェクト

発行日: 2013年03月10日 (第14号)

発行所: 神奈川県横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 2F

さくら Works <関内>

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail: pr@savemlak.jp

URL: <http://savemlak.jp/>



saveMLAKニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。
複写・配布等、自由にしていただいて構いません。